

第2章 富士川町の将来像



第2章 富士川町の将来像

計画の体系

目標年次:平成 42 年度(2030 年) 将来人口:17,000 人

まちの将来像

将来像

魅力と交流を育み、心豊かに住み続けられるまち

まちづくりの目標

- 人・もの・コトがつながる交流を育むまちづくり
- 自然と歴史文化が息づく郷土の誇りを継承するまちづくり
- 安心・心豊かに住み続けるまちづくり
- 支えあい、結びあい、高めあう元気なまちづくり



まちの将来構造

コンパクトな市街地と、豊かな自然や美しい景観と調和した地域が連携し、一体感のあるまちの構造の形成を目指します

分野別構想 - 分野別まちづくり方針 -

1. 土地利用の方針 ~都市と自然が共生する土地利用の方針~
2. 道路・交通まちづくり方針 ~人や地域を結ぶ道路・交通まちづくり方針~
3. 観光交流・活性化・定住促進のまちづくり方針 ~交流と活力を創造するまちづくり方針~
4. 歴史文化と景観まちづくり方針 ~富士川町らしさを継承する景観まちづくり方針~
5. 自然環境・水と緑のまちづくり方針 ~豊かな自然を守り彩りを育むまちづくり方針~
6. 防災まちづくり方針 ~地域に住み続けられる防災まちづくり方針~
7. 生活環境・福祉のまちづくり方針 ~安心・快適な暮らしの環境づくり方針~

地域別構想 - 地域別まちづくり方針 -

1. 都市・田園地域
2. 平林・穂積地域
3. 中部・五開地域



計画の実現に向けて

町民・事業者・行政などの協働によるまちづくりの推進

町民を主体として、事業者や行政などのそれぞれの役割と責任により、富士川町の将来のまちの姿を共有しながら、知恵と創意工夫を結集する協働によるまちづくりを進めます

1 . まちの将来像と目標

「第一次富士川町総合計画」(平成24年3月)における、富士川町の将来像を踏まえ、住民アンケート調査やまちづくり住民会議の意見を参考に、次のようなまちづくりの将来像と目標を設定しました。

富士川町の将来像

※「第一次富士川町総合計画」における将来像

暮らしと自然が輝く 交流のまち

～“生涯”快適に暮らせるまちを目指して～

まちの将来像

魅力と交流を育み、心豊かに住み続けられるまち

本町は、駿信往還と駿州往還の追分・宿場、富士川舟運の河岸として古くから栄え、多くの人、物、文化、風習が行き交う拠点としての役割を担ってきました。また、南アルプスに連なる山々や大小の河川が合流する豊かな自然と美しい景観に恵まれ、山塊に包まれた里山集落や良好な丘陵地から扇状地に展開する田園風景、雄大な河川に沿う都市的な空間が調和する中に、数多くの観光資源や歴史・文化資産が潜在する固有の魅力擁したまちです。

長い歴史と営みの中で培われた本町の誇るこれらの財産を損なうことなく、次代に継承していくことは、今を生きる私たちにとってとても大切なことです。

本町が歩んできた歴史的経緯や大切に守られてきた本町が誇る魅力を再認識し、時代の変化を見すえながらまちづくりに活かすとともに、富士川町に住み続けることへの誇りを培いながら、真の豊かさや多くの交流を育む、心豊かに住み続けるまちづくりを目指します。

まちづくりの目標

人・もの・コトがつながる 交流を育むまちづくり

本町の魅力資源に磨きをかけ質を高めるとともに、往年の舟運のように広域交通の要衝等を活かし、様々な人やもの(資源)、コト(活動)が相乗効果で連携し、賑わいや交流を育む魅力あるまちづくりを目指します。

自然と歴史文化が息づく 郷土の誇りを継承するまちづくり

豊かな自然と先人たちに培われた歴史文化資源は本町の大切な財産です。これらを大切に守り・育むとともに、この恵みを享受する多くの人と関わり合いながら、郷土の誇りを継承し、活かすまちづくりを目指します。

安心・心豊かに住み続ける まちづくり

身近な生活基盤の充実や快適な環境づくり、安心・安全なまちづくりなどを進め、子どもからお年寄りまで誰もがふるさとして住み続けることを楽しみ、誇りに思うことのできる、心豊かな暮らしを大切にしたいまちづくりを目指します。

支えあい、結びあい、高めあう 元気なまちづくり

本町は菴米学校にみられるように、古くから地域をあげて学び合う風土が根付いており、地域コミュニティや結びつきも深い地域です。この気風を活かし、ともに手をたずさえ、支え合い、高め合う地域づくりやまちづくりを目指します。

2. まちの将来構造

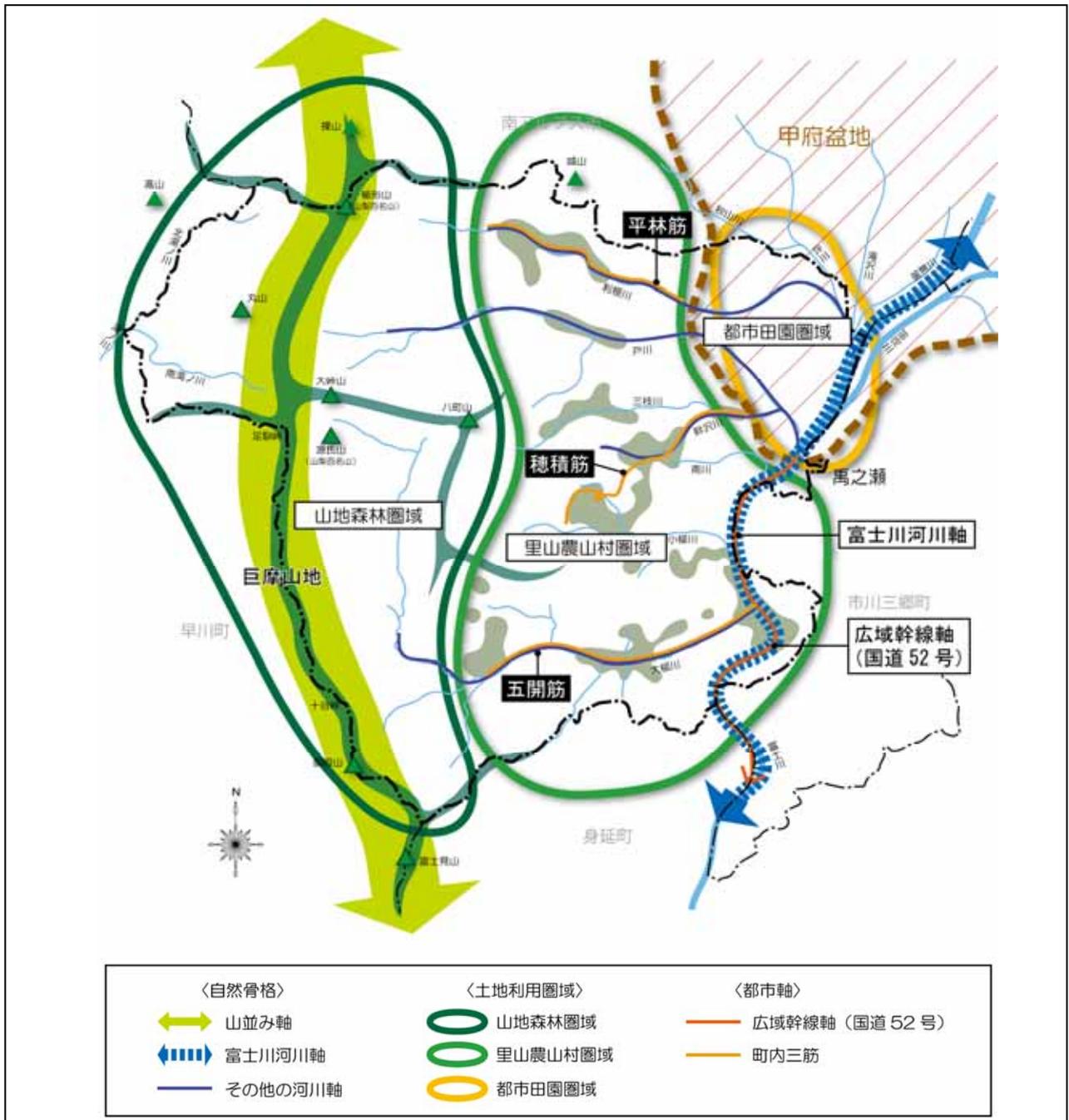
(1) 富士川町の地域構造

本町の地形構造は、町の西側を南北に連なる巨摩山地、町の東端を南流する富士川を大骨格として、巨摩山地から利根川、戸川、畔沢川、大柳川などの小河川が富士川に向かって流れ、谷筋を形成しています。町の北西部は甲府盆地の最南端にあたり、扇状地・平地が広がっています。

こうした地形構造に即し、本町の土地利用圏域は、北西部の扇状地・平地に展開する「都市田園圏域」、里山の中の緩傾斜地に農地と集落が点在する「里山農山村圏域」、楕形山、源氏山、富士見山と連なる巨摩山地の「山地森林圏域」の大きく3つの圏域により構成されています。

また、都市域は人口の約9割が集中する「都市田園圏域」にコンパクトに集約されており、ここから国道52号沿いの広域的な幹線軸と、町内三筋（平林筋、穂積筋、五開筋）が伸び、里山に点在する町内の農山村集落を放射状につないでいます。

富士川町の地域構造



(2) まちの将来構造の方針

本町の地域構造を踏まえ、まちの将来構造は次のような方針に基づいて設定します。

基本的な考え方

コンパクトな市街地と、豊かな自然や美しい景観と調和した地域が連携し、一体感のあるまちの構造の形成を目指します

本町の将来構造は、市街地を町北西部の扇状地・平地部にコンパクトに集約し、豊かな自然と長い歴史、人々の営みの中で形づくられてきた地域構造を継承していくことを基本に、多様なまちの拠点や各地域が連携し、周辺都市も含め有機的にネットワークされた、一体感のあるまちの構造の形成を目指します。

将来構造の形成方針

まちの拠点

中心市街地をはじめ、まちの活力と個性を高める多彩な拠点づくりを進めます。

公共公益施設、商業・業務施設、観光・文化施設などの各種都市機能の集積する地区は、本町の中心市街地として、機能強化と魅力の向上を図ります。

地域の主要施設周辺など、古くから地域の中心となっているところなどは、生活サービス機能の強化や地域特性を活かした魅力ある交流拠点づくりを進めるなど、地域拠点として形成を図ります。

現在、道の駅などの基盤整備が進められている増穂 IC 周辺は、観光・産業・防災などまちの活力向上に寄与する新たな交流活性化拠点としての形成を図ります。

その他、多様な地域資源を活用し、それぞれが独立したものではなく、相互に連携する多核ネットワーク型の構築を図り、富士川町らしい「人・もの・コト」がにつながる多彩な拠点づくりを進め、まちの活力と個性を高めていきます。

まちの交流軸・骨格道路網

広域的な交通体系の確立とともに、周辺都市や町内三筋・地域間の交流・連携を支える骨格的な道路交通網の機能強化と、特色ある交流軸の形成を目指します。

中部横断自動車道の整備促進による広域的な交通体系の確立とともに、周辺都市や町内三筋・地域間を結ぶ主要な骨格道路網の機能充実を図り、まちの活力の向上と地域連携・交流を強化します。

そのため、交流とまちの活性化を促すまちの賑わい交流軸や、本町と周辺都市との連携を担う都市交流軸、特色ある観光やレクリエーション機能を担う観光レクリエーション軸の他、市街地の緑や各拠点を回遊する緑の風景回廊、町内三筋や中山間地域を有機的に結ぶ中山間地域連携軸など、町民の暮らしの向上と交流を育み、まちの魅力を高める交流軸の形成を図ります。

土地利用エリア

豊かで美しい自然や景観と調和し、地域特性を活かした土地利用エリアの形成を目指します。

本町の地形構造や土地利用の特性から大きく4つの土地利用エリアに区分し、地域の特性にふさわしい土地利用の形成を図ります。

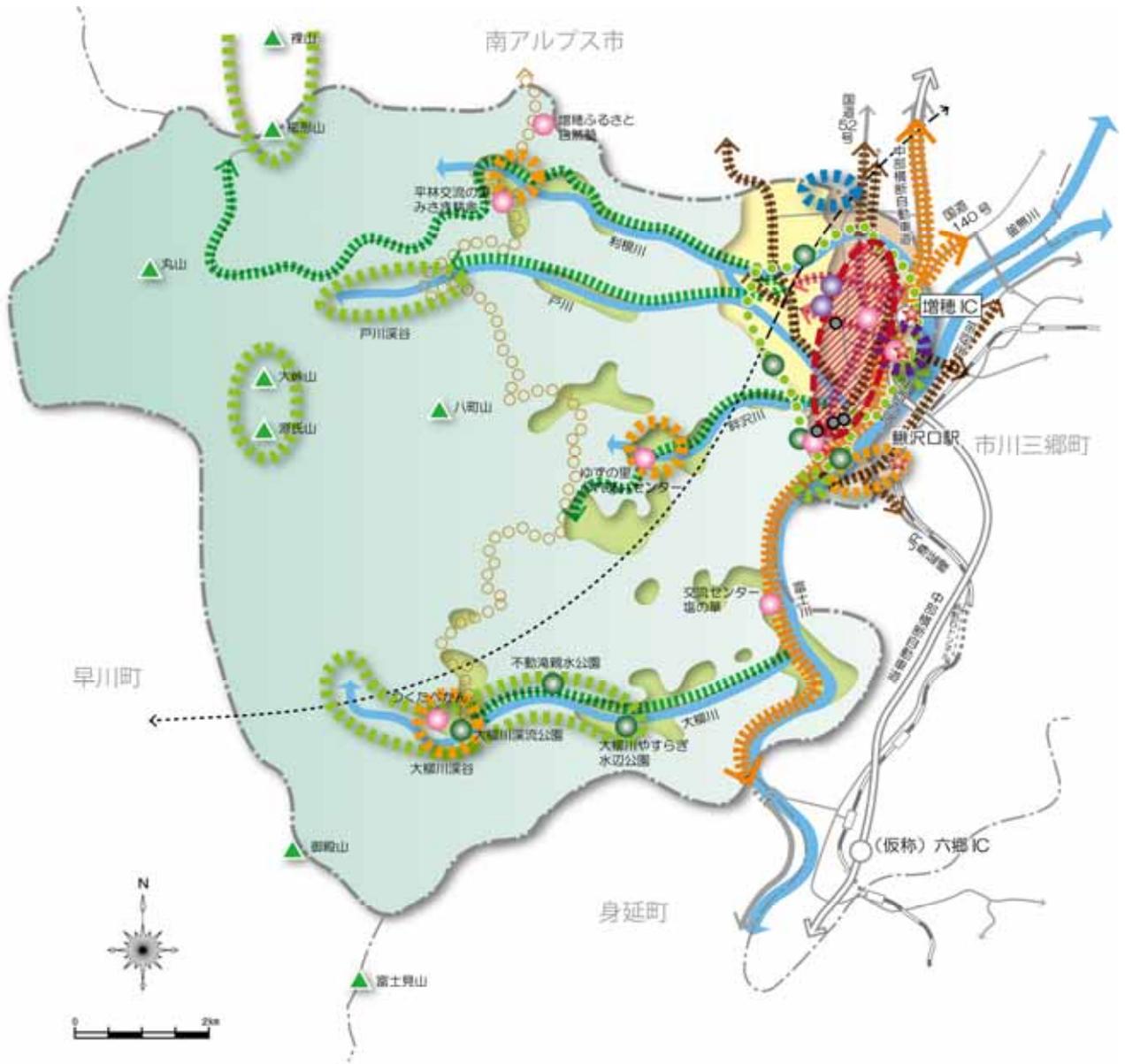
都市田園圏域においては市街地をコンパクトに集約し、「市街地エリア」と「田園環境共生エリア」を設定します。また、里山農山村圏域と山地森林圏域については、豊かで美しい自然環境や景観と共生し、心豊かに住み続けることのできるよう、日常的な暮らしの営みがある「農山村エリア」と森林に覆われている「森林山地エリア」を設定します。

(3) 将来構造の設定

将来構造の基本的な考え方や方針に基づき、本町の将来構造を次のように設定します。

将来構造の設定	
まちの拠点	<p>中心市街地 ~行政や商業・業務、観光機能など各種都市機能が集積するまちの中心となる市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道52号周辺に形成された青柳・鵜沢の市街地 <p>地域生活拠点 ~生活サービス機能が集約し身近な交流機能を担う地域の中心となる拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平林、小室、五開地区の主要施設周辺、鵜沢口駅および山王土地区画整理事業地区周辺 <p>文化拠点 ~町民の文化活動や交流を高める拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化ホール、民俗資料館周辺 <p>観光交流拠点 ~町民と来訪者等の交流を促し観光活性化の推進を担う拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅富士川、あおやぎ宿活性館・追分館、(仮称)まちの駅・シビック広場、交流センター塩の華、平林交流の里みさき耕舎、増穂ふるさと自然塾、ゆずの里ふれあいセンター、つくたべかん など <p>緑の拠点 ~町民や来訪者等の憩い・レクリエーション活動の場となる主要な都市公園・緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大法師公園、殿原スポーツ公園、利根川公園、富士川ふれあいスポーツ広場、大柳川やすらぎ水辺公園、不動滝親水公園、大柳川溪流公園 など <p>自然レクリエーション拠点 ~自然とのふれあいと観光レクリエーション機能を担う拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大柳川渓谷周辺、戸川渓谷周辺、水辺プラザ、櫛形山周辺、源氏山・大峠山周辺 など <p>産業拠点 ~産業基盤整備の推進と企業誘致の促進を図る拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林工業団地周辺 <p>新たな交流活性化拠点 ~観光交流・産業・防災などまちの活性化を担い新たな都市機能を誘導する拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部横断自動車道増穂IC周辺
まちの交流軸	<p>広域連携軸 ~本町と他都市間の広域的な連携を強化し都市活動の骨格となる軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道52号(甲西道路分岐以南)、甲西道路、国道140号 <p>まちの賑わい交流軸 ~中心市街地周辺の賑わいと町民・来訪者等の交流を促し活性化の推進を担う軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道52号沿道の中心商店街、(都)青柳横通り線、(都)大柵大久保線 など <p>都市交流軸 ~本町と周辺都市との連携・交流を担う軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道52号(利根川以北)、(都)青柳長沢線、(主)市川三郷富士川線、富士川西部広域農道(ウエスタンライン)、町道戸川添1号線 など <p>主要な観光レクリエーション軸 ~観光やレクリエーション機能を担う軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道平林青柳線、県道高下鵜沢線、県道十谷鬼島線、丸山林道 など <p>緑の風景回廊 ~市街地の緑、親水空間、主要な拠点等をネットワークする良好な風景を体験できる回遊軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜回廊(大法師公園~殿原スポーツ公園~森林総合研究所~菴米の棚田~利根川公園)、水辺回廊(利根川公園~利根川沿い~富士川沿い~大法師公園) など <p>中山間地域連携軸 ~防災機能や観光活性化等に資する中山間地域の連携や交流を担う軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内三筋の県道、平林・穂積・十谷を結ぶ林道 など <hr/> <p>水と緑の軸 ~自然骨格軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士川、利根川、戸川、大柳川、畔沢川 など
骨格道路網	<p>高規格道路 ・中部横断自動車道</p> <p>広域幹線道路 ・甲西道路、国道140号、国道52号(甲西道路分岐以南)</p> <p>主要幹線道路 ・国道52号(甲西道路分岐以北)、(主)富士川南アルプス線</p> <p>幹線道路・地域幹線道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(都)青柳長沢線、(都)金手小林線、(都)甲西増穂線、(都)大柵大久保線、(都)青柳横通り線、(都)昌福寺横通り線、富士川西部広域農道(ウエスタンライン)、県道平林青柳線、県道高下鵜沢線、県道十谷鬼島線、(主)市川三郷富士川線 など <p>主要交通拠点 ・増穂IC周辺、道の駅富士川周辺、JR身延線鵜沢口駅周辺</p>
土地利用エリア	<p>市街地エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途地域および鵜沢の市街地 <p>田園環境共生エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山麓の扇状地の展開する田園集落地 <p>農山村エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平林、高下・小室、鬼島・国見平・長知沢、箱原、鹿島、柳川・鳥屋、十谷等の中山間地域の農山村 <p>森林山地エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町域の約8割を占める森林、山地

富士川町の将来構造



凡例

まちの拠点		まちの交流軸		骨格道路網		土地利用エリア	
	中心市街地		広域連携軸		高規格道路		市街地エリア
	町役場・合同庁舎		まちの賑わい交流軸		広域幹線道路		田園環境共生エリア
	地域生活拠点		都市交流軸		主要幹線道路		農山村エリア
	文化拠点		主要な観光レクリエーション軸		幹線道路・地域幹線道路		森林山地エリア
	観光交流拠点		緑の風景回廊		主要交通拠点		
	緑の拠点		中山間地域連携軸				
	自然レクリエーション拠点						
	産業拠点						
	新たな交流活性化拠点						
		自然骨格軸					
			水と緑の軸		リニア中央新幹線ルート (高架橋・トンネル)		
			山				

富士川町の将来構造(都市田園圏域)

